



SOS 子どもの村  
JAPAN

すべての子どもに愛ある家庭を

令和3年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

2021

SOSアドバンスセミナー

SOS子どもの村JAPANが主催する、里親やFH養育者、施設関係者等の社会的養護関係者向けのセミナーです。

# 家庭でできる！ 子どもの愛着をはぐくむ支援

社会的養護下で育つ子どもたちの中には、愛着形成に課題がある子どもや家族との分離、あるいは里親家庭・施設からの措置変更等により喪失体験を重ねてきた子どもも少なくありません。このような子どもたちは様々な生きづらさを抱え、時にはその生きづらさが行動化し養育者を悩ませることもあります。子どもたちが他者や自分自身を信頼し、安心感を持って生きていくことを支えるために、家庭ではどのような支援やケアが必要なのか、講師のご経験からそのヒントについてうかがいます。



講師

松永 忠 先生

児童養護施設 光の園 施設長  
大分県警フレンドリーサポートセンターアドバイザー  
大分県児童養護施設協議会会長  
大分県社会福祉審議会児童福祉専門分科会部会長  
大分県人権擁護委員

日時

7月17日(土) 10時~12時30分 9時45分受付開始

参加費

1000円(クレジット払い)

※支払い方法につきましては申し込み後の自動返信メールをご確認ください。

会場

オンライン(Zoom)

申し込み

右のQRコードを読み取っていただき、申し込みフォームに必要事項を入力のうえお申し込みください。



こちらからお申し込みください

お問合せ：特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN (担当：羽田)  
TEL:092-737-8655 MAIL:senmon@sosjapan.org



家庭養育者のための専門研修会  
2021

里親やFH養育者、施設関係者等社会的養護関係者向けの  
研修会です。

# 実践家に聴く！ “自立”ってなんだろう？

みなさんは「自立」という言葉にどのようなイメージを持っていますか？

「自立支援」という言葉はよく耳にしますが、そもそも「自立」とはどのような状態をさすのでしょうか。金銭管理ができること？ 毎日仕事に行けること？ 社会的なマナーを身に着けること？ みなさんそれぞれに「自立」のイメージをお持ちだと思います。

今回は、「生きてきたことが奇跡のような人(若者)たち」に寄り添い、アフターケアに取り組まれている高橋亜美さんのお話を聴きながら、子ども・若者とともにある、私たち大人の在り方を見つめ直すための研修会です。普段当たり前に使われる「自立」という言葉の意味を考え直すとともに、その前にやってくる嵐のような「思春期」を乗り越えるために、講師が実践で大切にされていることもうかがいます。

## 講師



## 高橋 亜美さん

(アフターケア相談所ゆずりは)

1973年生まれ。日本社会事業大学社会福祉学部卒業。自立援助ホームのスタッフを経て、2011年よりアフターケア相談所ゆずりはの所長。2018年よりアフターケア事業ネットワークえんじゅ代表理事。

著書に『子どもの未来をあきらめない 施設で育った子どもの自立支援』(明石書店2015年)『はじめてはいた靴下』(百年書房2018年)など。

散歩、日本酒が大好き。最近ピラティスを始めました。

NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」にご出演されました！

日時

11月13日(土) 10時～12時30分 9時45分受付開始

参加費

1000円(クレジット払い)

※お支払い方法につきましては申し込み後の自動返信メールをご確認ください。その他のお支払い方法をご希望の方はお問合せください。

会場

オンライン(Zoom)

申し込み

右のQRコードを読み取っていただき、申し込みフォームに必要事項を入力のうえお申し込みください。



← お申し込みはこちらから